



平成 28 年 11 月 18 日

各 位

会社名 株式会社フィル・カンパニー
代表者名 代表取締役社長 能美 裕一
(コード番号：3267 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員経営管理部長 西村 洋介
(TEL：03-5275-1701)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 28 年 11 月 18 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の平成 28 年 11 月期（平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日）の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして、別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円・%)

項目	決算期	平成 28 年 11 月期 (予想)			平成 28 年 11 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 27 年 11 月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高		1,650	100.0	10.5	1,305	100.0	1,493	100.0
営業利益		200	12.1	33.0	200	15.3	150	10.0
経常利益		220	13.3	42.6	213	16.3	154	10.3
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益		170	10.3	21.3	158	12.1	140	9.3
1 株 当 た り 当期（四半期）純利益		79.19			74.20		65.52	
1 株 当 た り 配 当 金		0 円 00 銭			0 円 00 銭		0 円 00 銭	

(注) 1. 平成 27 年 11 月期（実績）及び平成 28 年 11 月期第 3 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 平成 28 年 11 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数（200,000 株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

【平成 28 年 11 月期業績予想の前提条件】

(1) 当社全体の見通し

当社グループは、駐車場の上部“未利用”空間の活用を実現した空中店舗フィル・パーク事業を展開しております。コインパーキングを始めとした駐車場を取り巻く空間が“駐車場としてしか存在し得ない”という半ば常識(固定概念)ともなっていた状況下において“もったいない”という発想から、駐車場上部“未利用”空間を店舗として活用することで「駐車場+空中店舗(建物)」という新たな“常識と価値”を創り出しました。

空中店舗フィル・パーク事業は、土地オーナーの利益を最大化する、①駐車場収益を最大限に残す“建築”と連動した投資回収の早い企画 ②商業テナントとの各種調整業務や初期テナント誘致保証 ③パートナー（建設会社・設計士）と協業でつくるコストパフォーマンス・タイムパフォーマンスに優れたコンストラクションマネジメント ④土地オーナーの事業を成功に導くためのプロセスを一貫してサポートする事業コンサルティング、以上①～④をワンストップで提供している点が特徴であるとともに、各々が高い付加価値を持つサービスとして構成されております。

駐車場（コインパーキング）において、一般社団法人日本パーキングビジネス協会が平成 28 年 7 月に発表した「コイン式自動車駐車場市場に関する実態分析調査 2015 年版」によると、コインパーキング（500㎡未満）の箇所数は平成 27 年で 60,000 箇所にまで達しております。

このような環境のもと、駐車場と共存共栄できる当社グループの「空中店舗フィル・パーク」事業は、平成 28 年 8 月現在、全国主要都市を中心に未だ 90 箇所（建築中のプロジェクトも含む）の展開であり、使われていない空間が数多く存在する中、少しずつ実績を積み重ねてまいりました。

その結果、平成 28 年 11 月期第 3 四半期累計期間におきましては、売上高 1,305 百万円、営業利益 200 百万円、経常利益 213 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 158 百万円となっております。

平成 28 年 11 月期の業績予想は、売上高 1,650 百万円（対前期増減率 10.5%増）、営業利益 200 百万円（対前期増減率 33.0%増）、経常利益 220 百万円（対前期増減率 42.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 170 百万円（対前期増減率 21.3%増）を見込んでおります。

(2) 個別の前提条件

① 売上高

当社グループは、土地オーナーに対し「空中店舗フィル・パーク」の企画・デザイン・プロジェクトマネジメント業務、開発調査業務、設計・監理業務、工事請負業務、事業コンサルティングや初期テナント誘致業務等をワンストップで提供する付加価値の高いサービスとして構成されているため、単一セグメントとしております。

当社グループの売上高は、顧客への物件竣工時に売上が計上される取引が多く、平成 28 年 11 月期第 3 四半期までの売上高は、主に平成 27 年 12 月～平成 28 年 8 月までの竣工件数 17 件（前年同期間 14 件）が売上高に計上されております。

平成 28 年 11 月期第 3 四半期までの業績進捗については、これまでの実績を評価していただいたことに加え、早期の投資回収を実現できる企画と初期テナント誘致保証など付加価値の高いサービスを提供できた結果、売上高（実績）は 1,305 百万円となりました。

平成 28 年 11 月期の通期業績予想については、第 3 四半期（8 月まで）の実績値に加え、第 4 四半期の予想売上高は、9 割程度が既に契約済みの案件で、残り 1 割が竣工済み物件の内装工事等の受注確度が高い案件をもとに算定しております。

以上により、平成 28 年 11 月期の売上高は、竣工件数 19 件（前期 19 件）で、前期に比べて竣工 1 件当たりの売上高が大きいため、1,650 百万円（対前期増減率 10.5%増）を見込んでおります。

② 売上原価

売上原価については、主に各案件に紐づく売上原価となる費用を積み上げて算定しております。

売上原価となる費用とは、主に「空中店舗フィル・パーク」の開発調査費、設計士への設計・監理委託、建設会社への請負代金等の費用が中心となっております。

以上により、平成 28 年 11 月期の売上原価は、1,208 百万円（対前期増減率 6.3%増）を見込んでおります。

③ 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費については、主に人件費（役員報酬含む）で構成されており、平成 28 年 11 月期第 3 四半期までの実績は、平成 27 年 11 月期末時点に比べ人員（役員含む）3 名の増加が含まれ、平成 28 年 11 月期第 4 四半期では 2 名～3 名の採用を見込んでおります。

以上により、平成 28 年 11 月期の販売費及び一般管理費は、242 百万円（対前期増減率 17.0%増）を見込んでおり、営業利益は 200 百万円（対前期増減率 33.0%増）を見込んでおります。

④ 経常利益

営業外収益・費用については、貸倒引当金戻入益 13 百万円、土地一時使用賃貸借契約の解約に伴う雑収入 3 百万円、子会社である(株)フィル・コンストラクションが免税事業者に該当することに伴う消費税雑収入 11 百万円、銀行借入に伴う支払利息 1 百万円を見込んでおり、平成 28 年 11 月期は 220 百万円（対前期増減率 42.6%増）を計画しております。

⑤ 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別損益については、計画しておりません。

以上の結果、平成 28 年 11 月期の親会社株主に帰属する当期純利益は、170 百万円（前期比 21.3%増）を計画しております。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている当社の業績見通しについては、本資料の作成時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上



平成28年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月18日

上場会社名 株式会社フィル・カンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3267 URL http://philcompany.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)能美 裕一
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営管理部長 (氏名)西村 洋介 (TEL) 03(5275)1701
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年11月期第3四半期の連結業績(平成27年12月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第3四半期	1,305	-	200	-	213	-	158	-
27年11月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 28年11月期第3四半期 158百万円 (-%) 27年11月期第3四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第3四半期	74.20	-
27年11月期第3四半期	-	-

(注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を平成28年11月期より行っているため、平成27年11月期第3四半期の数値及び対前期増減比については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権は存在するものの、平成28年11月期第3四半期においては未上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年11月期第3四半期	1,003	385	38.4
27年11月期	1,048	226	21.6

(参考) 自己資本 28年11月期第3四半期 385百万円 27年11月期 226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	-	-	-	0.00	0.00
28年11月期	-	-	-	-	-
28年11月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の連結業績予想(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,650	10.5	200	33.0	220	42.6	170	21.3	79.19

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成28年11月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(200,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年11月期3Q	2,139,000株	27年11月期	2,139,000株
② 期末自己株式数	-株	27年11月期	-株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2,139,000株	27年11月期3Q	2,139,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア新興国等では成長に鈍化が見られ、欧州でも英国のEU離脱により不透明感が強まる状況であるものの、雇用情勢の改善が進む等、景気は緩やかな回復基調が継続いたしました。

このような状況の中、駐車場の上部“未利用”空間の活用を実現した当社の空中店舗フィル・パーク事業は、早期の投資回収を実現できる企画と初期テナント誘致保証など付加価値の高いサービスを評価していただき、リピーター顧客も増加してまいりました。

また、訪日外国人の増加によるインバウンド需要が拡がる中、平成28年1月竣工のフィル・パーク神楽坂には、ホステル（旅館業法に基づく簡易宿泊所）業態をテナントとして誘致しました。

さらに、昨今の待機児童問題とともに保育園が不足している中、平成28年2月竣工のフィル・パーク雑色及フィル・パーク石川台には、小規模保育園を誘致するなど、今の世の中の需要にあった空間づくり（SPACE ON DEMAND）のコンセプトのもと、多種多様なテナント誘致に取り組んでまいりました。

具体的な当第3四半期連結累計期間の実績としては、新規竣工プロジェクト数は17件となり、平成28年8月31日現在、フィル・パークの累計プロジェクト数は90件（建設中のプロジェクトを含む）に達しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間では売上高1,305,901千円、営業利益200,545千円、経常利益213,431千円、親会社株主に帰属する四半期純利益158,710千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結累計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて44,983千円減少し、1,003,049千円になりました。これは主として、仕掛販売用不動産が122,622千円、有形固定資産が27,552千円増加したこと、現金及び預金が44,104千円、未成業務支出金が131,309千円、売掛金が25,485千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結累計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて203,694千円減少し、617,505千円になりました。これは主として、買掛金が58,719千円、短期借入金が115,000千円、未払法人税等が53,096千円増加したこと、前受金が398,082千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて158,710千円増加し、385,543千円になりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日開示いたしました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。なお、上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	631,676
売掛金	10,655
未成業務支出金	4,055
仕掛販売用不動産	122,622
その他	23,216
流動資産合計	792,227
固定資産	
有形固定資産	153,238
無形固定資産	
その他	5,696
無形固定資産合計	5,696
投資その他の資産	
その他	80,588
貸倒引当金	△28,701
投資その他の資産合計	51,887
固定資産合計	210,821
資産合計	1,003,049
負債の部	
流動負債	
買掛金	107,372
短期借入金	115,000
未払法人税等	58,615
前受金	146,966
その他	74,284
流動負債合計	502,239
固定負債	
長期借入金	40,843
資産除去債務	17,089
長期預り保証金	57,333
固定負債合計	115,266
負債合計	617,505
純資産の部	
株主資本	
資本金	99,300
資本剰余金	99,300
利益剰余金	186,943
株主資本合計	385,543
純資産合計	385,543
負債純資産合計	1,003,049

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)
売上高	1,305,901
売上原価	945,566
売上総利益	360,334
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	16,913
役員報酬	34,800
給料及び手当	43,075
その他	64,999
販売費及び一般管理費合計	159,788
営業利益	200,545
営業外収益	
受取利息	136
受取配当金	151
貸倒引当金戻入益	13,838
その他	10
営業外収益合計	14,136
営業外費用	
支払利息	1,251
営業外費用合計	1,251
経常利益	213,431
税金等調整前四半期純利益	213,431
法人税、住民税及び事業税	59,147
法人税等調整額	△4,427
法人税等合計	54,720
四半期純利益	158,710
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	158,710

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)
	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年12月1日 至 平成28年8月31日)
四半期純利益	158,710
四半期包括利益	158,710
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	158,710
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、フィル・パーク事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。